学校番号	301

令和５年度　地理歴史科

教科	地歴	科目	地理Ｂ(文)	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	新詳地理Ｂ(帝国書院)、新詳高等地図(帝国書院)						
副教材等	新詳地理資料 COMPLETE(帝国書院)、サクシード地理(啓隆社) ウィニングコンパス(東京法令出版)						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地理Ｂでは、２年生で学習した地理Ａの内容を基礎にして、人間の経済活動や文化活動の地域的展開について深く学びます。世界各地を比較検討し、その特殊性や共通性を学び、国際人としてのものの見方や考え方の構築に役立てます。様々な地域の人々の活動を自分のこととして置き換え、判断、思考するように努めましょう。この２単位の地理Ｂでは、地誌を中心に学び、世界各地の様子を把握したあと、まとめとして地域調査の手法を用いて日本各地の様子を概観します。

２　学習の到達目標

１、現代世界の諸地域について歴史的背景を踏まえて地誌的に考察することができる。
２、ある地理的事象がそこにみられる理由や背景を考察することができる。
３、世界各地の地域的特色を共通性と特殊性の視点から追究することができる。
４、地域の変容を捉え、地域の課題や将来像について考察することができる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	日本や世界が抱える地理的な諸課題について、関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	日本や世界が抱える地理的な諸課題について、これまでの歴史的経緯などをふまえ、その解決の方向性や将来像などを多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。	現代世界の日本や世界に関する統計などの諸資料を適切に収集し、収集した資料から、有用な情報を適切に選択して、これをもとに全世界が抱える地理的な諸課題の原因や今後の展望などが読み取ることができる。	さまざまな規模の地理的な諸課題を抱える日本と世界の現状と今後重要となる取り組みを理解し、その知識を身につけている。
評価方法	発表 レポート	定期考査 小テスト	定期考査 発表 小テスト	定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	現代世界の地誌的考察	○東アジア ○東南アジア ○南アジア ○西アジア ○アフリカ ○ヨーロッパ・ロシア	○	○		○	a:地域的特色や地球的課題を基に、各地域に対する関心と課題意識を高めようとしている。 b: 歴史的背景をふまえた地域の変容や構造、人口増加と経済格差などの地域的特色や地球的課題を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:統計や主題図・写真など諸資料を適切に収集し、収集した資料から、有用な情報を適切に選択して、各地域について読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: 各地域の歴史的背景をふまえた地域の変容や実態、人口増加と経済格差や経済発展の実態などの地域的特色や地球的課題について、考察する方法を理解し、その知識を身につけている。	定期考査 小テスト 発表 レポート等
後期	現代世界の地誌的考察	○アングロアメリカ ○ラテンアメリカ ○オセアニア ○日本	○		○	○	a: 地域的特色や地球的課題を基に、各地域に対する関心と課題意識を高めようとしている。 b: 歴史的背景をふまえた地域の変容や構造、人口増加と経済格差などの地域的特色や地球的課題を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 統計や主題図・写真など諸資料を適切に収集し、収集した資料から、有用な情報を適切に選択して、各地域について読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: 各地域の歴史的背景をふまえた地域の変容や実態、人口増加と経済格差や経済発展の実態などの地域的特色や地球的課題について、考察する方法を理解し、その知識を身につけている。	定期考査 小テスト 発表 レポート等
	現代世界と日本	○日本が抱える地理的な諸課題 ○日本が抱える課題の追及	○	○	○	○	a: 身近な地域と世界との結びつきに対する課題意識が高まっている。 b: 身近な地域の調査結果を地図化、図案化などして考察している。 c: 地域調査学習に役立つ資料の収集を適切におこない活用している。 d: 地域調査の方法や結果報告方法を理解し、その知識を身につけている。	小テスト 発表 レポート等

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　d:知識・理解